

令和8年度 第3回 鴨江小学校学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年10月5日(水) 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 鴨江小学校 南校舎1階 会議室
- 3 出席委員 大石 宗一郎 原田 研次 山下 健一 奥田 一雄  
木全 美香 久保田世津子 國年 麻衣子 山口 利恵
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 和田 祐哉 (県居協働センター)
- 6 学 校 杉山 友里(校長) 野中 律宏(教頭) 渡邊 夕紀子(教務主任)  
中谷 喬子(CSディレクター)
- 7 教育委員会 磯部 志保(学校・地域連携課)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 中谷 喬子

10 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、大石委員の立候補があり、全員異議なくこれを承認した。

11 前回の会議録確認

12 熟議

司会の野中(教頭)から、委員8名のうち8名の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会の野中(教頭)から熟議に先立ち、クラブ活動の様子を見ていただくよう指示があった。そして、資料送信時にお願いした体験活動の充実のために、熟議の際、講師について御意見をいただきたいと話があった。

クラブ活動(かもちゃん講座:全7講座)見学

・歴史、工作、小物・手芸、自然科学、屋内スポーツ、マジック、音楽

(1) 体験活動の充実について

①かもちゃん講座

- ・初めてやることに楽しそうだった。自分が子供の頃にはなくいい企画だ。毎年同じでもいいかと思うがそういうわけにもいかないのだろう。大変だと思うが続けてもらいたい。(原田委員)
- ・楽しそうに一生懸命話を聞いている。土器の重さを実際に触って感じられるのが良い。マジックも身近な素材で行っていた。普段とは違う体験なので続けてもらいたい。(國年委員)
- ・いろいろな方面のおもしろい体験がある。子供が興味を持ち何かに引っかかってくれたら良い。(大石委員)
- ・県居協働センターに組み紐講座がある。全6回で多くの作品を持ち帰れるので子供が喜んでいる。講師にいいのではないかな。(國年委員)
- ・かもちゃん講座は材料費だけでほぼボランティアでやっていただいている。講師料を多く支払できない問題がある。先生ではなく習っている生徒さんに教えてもらう案も考えたことがあるが、難しい部分もある。(山口委員)
- ・県居エリアには日本文化に精通している人が多い。講師をしたい申し出も多いが待っていただいている状況。伝統工芸などは文部科学省の助成があるので子供無料で出来ている。(和田オブザーバー)
- ・折り紙講座をやっている人の話も聞いたことがある。(原田委員)

- ・茶道を習っているので先生にお願いできないかと思う。他の小学校では茶道講座もあると聞く。(木全委員)
- ・数年前は茶道講座があった。準備に時間がかかるなどの課題もあり、現在は依頼していない。子供の興味に合わせて講座は入れ替えをしている。(山口委員)
- ・「組み紐」「折り紙」「茶道」をセットにして「伝統工芸クラブ」として全3回の活動に1回ずつ振り分けるのはどうか。3回通しの依頼は負担も大きいとため、頼みやすくなる。(木全委員)

## ②各教科・総合的な学習の時間の充実

- ・知っている外部講師の方はいないか。子供たちの学びを充実させるために、ぜひ教えていただきたい。(校長)
- ・講師はお試しでも良いのか、知見が深い方のほうがいいのだろうか。(大石委員)
- ・鴨江児童遊園(どんぶらっこ)の地下にある雨水調整池の見学を行っている学校もあるようだ。鴨江小でも開催できないだろうか。(國年委員)
- ・講師の方はどのような基準で選んでいるか。人数は決まっているのか。(原田委員)  
→教諭からの依頼に合わせて探している。地域の人で〇〇の話をしてくれる人はいないか。この職業に就きたい子がいてその職業の方はいないかなどである。使用する教室や時間数にもより、4名程紹介する場合もあるが年次によって様々である。(山口委員)
- ・地域の方で海外勤務経験が豊富な方がいる。(大石委員)
- ・どんな講座を行うのか。(原田委員)  
→金融機関であればお金の数え方などお金の話だ。探す際は浜松市の人材バンクホームページも利用している。スーパーマーケットや美容室は知人の紹介である。(山口委員)
- ・金融機関であれば投資の話もしてもらえないのではないか。(大石委員)
- ・簡単な法律の話であればできることがあるかもしれない。ルールを守ることの大切さを法律と絡めて話ができる。(原田委員)
- ・社会科の政治経済の勉強につながるので大変有意義だと思う。(校長)

## (2) 第2回の熟議を受けて

### ①あいさつの2学期の取り組み、地域での様子

- ・校門の前で、あいさつマスターと運営委員会があいさつ活動を行っている。校門前で大きな声のあいさつは、1学期にはない光景だ。一方で登校後の校内や帰りの「さようなら」のあいさつは自発的ではない。型を用意したら出来るのだがまだまだ途上である。様々な場面であいさつができるといい。地域でのあいさつの様子を教えてほしい。(教頭)
- ・地域で声をかける際、距離感やタイミングなど難しいところもある。あいさつは繰り返し、刷り込みが大事だ。(大石委員)
- ・面識がない子に話しかけていいのか悩むことがある。子供たちからあいさつをしてきたら返す。サッカーのコーチの服装をしている時にはあいさつをするようにしているが、してこない子もいる。(原田委員)
- ・あいさつの型を教えることから始めているが、なぜあいさつをしないのかを掘り下げることあるか。(大石委員)
- ・いつもあいさつをする子がしない日は、担任と情報を共有して様子を観察している。(校長)

- ・子供の意見、本音を聞きたい。校門で大人数が並んでいると緊張してしまいあいさつできない子もいる。子供が自分から発信して行うのが良い。あいさつ以外にも広がっていくのではないかと。(教頭)

## ②自主性 ○○チャレンジ

- ・「○○チャレンジ」を学年ごとに充実させている。学習系が多いがイベントの運営も子供たちが行っている。目標をもって練習してチャレンジ当日を迎える。自分たちで取り組む良い経験になっている。(教頭)

## (3) 学校施設整備について

### ①大規模改修 ②令和9年度以降の水泳授業

- ・大規模改修で作られる学校として、①高機能で安全・安心な教育環境の構築、②地域利用の促進、③激甚化する災害などの多様な社会的課題への対応の3つを考慮している。皆様には、特に②地域利用の促進の観点から、地域住民や保護者の視点で地域と連携していくうえでの御意見を聞かせていただきたい。(校長)
- ・改修なので骨組みは残り全体像は同じである。(教頭)
- ・放課後児童会の建物はなくなるのか。(原田委員)
- ・校舎の中に配置する予定である。北棟に特別教室を集中させて、上階にも渡り廊下を設ける予定である。(校長)
- ・グラウンドの大きさが気になっている。ボールを当てられる壁があるといい。遊具は無くなってしまうのか。(原田委員)
- グラウンドの大きさはあまり変わらないのではないかと。遊具は既存のものかもしれない。新しくなるか分からないが要望は出したい。駐車場使用者は放課後児童会や地域の方、体育館を使用する人など多岐にわたるが、数は十分に足りていると考えている。(教頭)
- ・防犯上、内外から施錠できる扉をつけていただくようは要望している。他に教室への要望はあるか。(教頭)
- ・防犯カメラの設置やトイレ個室数の男女の格差、階段の手すりの設置はどうか。(國年委員)
- 着替え等があるため教室内のカメラ設置は難しい。着替え場所も要望に入れている。学校の規模的にトイレの混雑は見られないため男女の個室数は同じである。階段にも手すりをすべて設置してもあうよう学校からも要望している。避難訓練で必要だと感じた。(校長、教頭)
- ・校舎東側の道路は、車の行き違いが可能な道幅が確保できるのか。(木全委員)
- 校舎の位置を西にずらして道路幅を広げる予定だ。車の出入り口と子供の登下校の動線を完全に分けることができるので安全性は向上すると捉えている。(教頭)
- ・水泳授業は来年度から外部の施設を利用して実施するが、詳細は決まっていない。子供の移動など不便があるが、プロのインストラクターに指導してもらえるメリットがある。(教頭)

## (4) その他報告事項等

- ・次回会議は令和9年2月17日(水)午後1時30分から午後3時まで会議室で開催するとの報告があった。
- ・12月中に、熟議チェックシートも活用して、4項目について自己評価表に記入し学校まで提出をしてほしい旨、連絡があった。